

業績の概要と分析

連結決算の概要

平成22年度中間期の三井住友フィナンシャルグループ連結決算の概要は以下のとおりとなりました。

I 業績

平成22年度中間連結決算は、連結子会社320社、持分法適用会社48社を対象としています。

平成22年度中間連結決算は、三井住友銀行において、金利動向を的確に捉えたオペレーションの実施により国債等債券損益が増益となったことや、昨年10月から新たに連結子会社になりました日興コーディアル証券株式会社の収益が寄与したこと等を主因と

して、連結粗利益が前年同期比2,507億円増加の1兆3,167億円となりました。この連結粗利益に、営業経費、不良債権処理額、株式等損益、持分法による投資損益を加減した経常利益は、不良債権処理額の減少等から、同3,183億円増益の5,406億円となりました。これに、特別損益及び法人税等を加減した中間純利益は、同2,939億円増益の4,174億円となりました。

◆ 連結子会社・持分法適用会社数

(単位：社)

	平成21年度中間期末	平成22年度中間期末	平成21年度末
連結子会社数	293	320	307
持分法適用会社数	80	48	58

◆ 損益の状況

(単位：百万円)

	平成21年度中間期	平成22年度中間期	平成21年度
連結粗利益	1,066,026	1,316,760	2,236,634
資金利益	683,164	660,539	1,380,912
信託報酬	540	1,052	1,778
役務取引等利益	259,528	358,518	608,616
特定取引利益	140,586	188,653	194,087
その他業務利益	△ 17,794	107,995	51,238
営業経費	△ 533,021	△ 655,630	△ 1,161,302
不良債権処理額 ①	△ 268,985	△ 107,094	△ 473,937
貸出金償却	△ 118,308	△ 60,552	△ 176,672
個別貸倒引当金繰入額	△ 142,974	△ 39,819	△ 184,257
一般貸倒引当金繰入額	30,253	△ 2,545	△ 17,944
その他	△ 37,955	△ 4,175	△ 95,063
株式等損益	△ 8,928	△ 22,582	△ 10,078
持分法による投資損益	△ 20,042	1,627	△ 21,542
その他	△ 12,822	7,528	△ 11,003
経常利益	222,225	540,609	558,769
特別損益	7,851	7,578	△ 671
うち減損損失	△ 1,763	△ 1,414	△ 12,856
うち償却債権取立益 ②	526	1,307	968
税金等調整前中間(当期)純利益	230,076	548,187	558,097
法人税、住民税及び事業税	△ 64,943	△ 46,527	△ 104,110
法人税等調整額	14,720	△ 27,318	△ 74,759
少数株主利益	△ 56,313	△ 56,848	△ 107,668
中間(当期)純利益	123,540	417,493	271,559
与信関係費用 ①+②	△ 268,458	△ 105,787	△ 472,968
<参考>連結業務純益(単位：億円)	4,004	6,006	8,323

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + 信託報酬 + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
 2. 連結業務純益 = 三井住友銀行業務純益(一般貸倒引当金繰入前) + 他の連結会社の経常利益(臨時要因調整後) + 持分法適用会社経常利益 × 持分割合 - 内部取引(配当等)

また、預金残高は、平成21年度末比5,516億円減少して78兆969億円、譲渡性預金残高は、同1兆9,820億円増加して8兆9,777億円となりました。

一方、貸出金残高は、同8,316億円増加して63兆5,326億円、

有価証券残高は、同4兆8,117億円増加して33兆4,357億円となりました。

純資産は、7兆1,986億円となりました。そのうち株主資本は、中間純利益の計上等により、4兆9,821億円となりました。

◆資産・負債・純資産

(単位：百万円)

	平成21年度中間期末	平成22年度中間期末	平成21年度末
資産	117,531,379	131,409,208	123,159,513
うち有価証券	28,355,428	33,435,725	28,623,968
うち貸出金	64,556,160	63,532,671	62,701,033
負債	111,428,411	124,210,597	116,158,708
うち預金	75,967,958	78,096,908	78,648,595
うち譲渡性預金	8,330,122	8,977,715	6,995,619
純資産	6,102,967	7,198,610	7,000,805

II 有価証券の評価損益

平成22年度中間期末の有価証券の評価損益は、株式の評価益が減少したこと等により、平成21年度末比1,801億円減少して4,649億円の評価益となりました。このうち、純資産直入の対象となる「そ

の他有価証券(含むその他の金銭の信託)」の評価損益は、同2,101億円減少して3,763億円の評価益となりました。

◆有価証券の評価損益

(単位：百万円)

	平成22年度中間期末				平成21年度末		
	評価損益	平成21年度末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	88,644	30,034	88,685	△ 40	58,610	59,344	△ 734
その他有価証券	376,412	△ 210,002	654,379	△ 277,966	586,414	799,355	△ 212,941
株式	172,123	△ 238,861	397,916	△ 225,792	410,984	543,745	△ 132,761
債券	134,477	10,819	138,243	△ 3,765	123,658	131,821	△ 8,163
その他	69,811	18,040	118,219	△ 48,408	51,771	123,788	△ 72,017
その他の金銭の信託	△ 83	△ 145	—	△ 83	62	157	△ 95
合計	464,973	△ 180,114	743,064	△ 278,091	645,087	858,858	△ 213,770
株式	172,123	△ 238,861	397,916	△ 225,792	410,984	543,745	△ 132,761
債券	223,153	40,784	226,919	△ 3,765	182,369	191,162	△ 8,793
その他	69,696	17,963	118,228	△ 48,532	51,733	123,950	△ 72,216

- (注) 1. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金並びに「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等も含めております。
2. 評価損益は、株式(外国株式を含む)については主に(中間)連結決算日前1カ月の平均時価に、それ以外は(中間)連結決算日の時価に基づいております。
3. 「その他有価証券」及び「その他の金銭の信託」については、時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表価額と取得原価(又は償却原価)との差額を計上しております。
- なお、平成22年度中間期末のその他有価証券の評価損益のうち、時価ヘッジの適用により費用に計上した額が968百万円ありますので、純資産直入処理の対象となる額は、同額加算されます。また、平成21年度末のその他有価証券の評価損益のうち、時価ヘッジの適用により収益に計上した額が105百万円ありますので、純資産直入処理の対象となる額は、同額減算されます。
4. 「その他有価証券」として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第25号)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって貸借対照表価額としております。

III 連結自己資本比率

平成22年度中間期末の連結自己資本比率は、平成21年度末の15.02%から1.00%上昇して16.02%となりました。

連結自己資本比率の分子となる自己資本額は、中間純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等により、同1,436億円増加

して8兆2,718億円となりました。また、分母となるリスク・アセット等は、事業法人等向けエクスポージャーが減少したこと等により、同2兆4,716億円減少して51兆6,128億円となりました。

◆ 連結自己資本比率(第一基準)の状況

(単位：百万円)

	平成21年度中間期末	平成22年度中間期末	平成21年度末
Tier 1 (基本的項目)	5,295,152	6,362,168	6,032,280
Tier 2 (補完的項目)(自己資本への算入額)	2,765,486	2,360,823	2,563,853
控除項目	△ 779,160	△ 451,126	△ 467,906
自己資本額	7,281,479	8,271,865	8,128,228
リスク・アセット等	55,423,266	51,612,844	54,084,471
連結自己資本比率	13.13%	16.02%	15.02%
Tier 1 比率	9.55%	12.32%	11.15%

IV 繰延税金資産

繰延税金資産は、繰延税金負債と相殺後の純額で、平成21年度末比105億円減少して6,915億円となりました。

繰延税金資産の計上は、財務の健全性の確保の観点から前期に引き続き保守的に行っております。

◆ 繰延税金資産の状況

(単位：百万円)

	平成21年度中間期末	平成22年度中間期末	平成21年度末
繰延税金資産純額	671,977	691,508	702,065
繰延税金資産純額 / Tier 1 比率	12.7%	10.9%	11.6%